

平成 26 年度 事業計画

研修関係

① 実務者研修事業

今年度事業内としては、昼のコース開講（9月から6か月）・夜間コース開講（9月から1年）

募集開始 6月 総会時に説明

8月 助成金等・利用事業所申し込み締め切り → 申請許可に1か月

9月 開講

* 一部、医療的ケアについては、複数事業所連携にて実施予定

② 研修事業（複数事業所連携事業を活用）

介護支援専門員受験対策講座（水戸・龍ヶ崎会場 全3回） (1)8/25 (2)9/25 (3)10/13

介護福祉士受験対策講座（水戸・龍ヶ崎会場 全3回） (1)11/18 (2)12/16 (3)1/16

認知症ケア（水戸・龍ヶ崎会場 全3回） 日程調整中

接遇研修（水戸・龍ヶ崎会場 全3回） 日程調整中

医療的ケア研修（水戸会場） 日程調整中

介護現場の賃金制度・人事管理運用について（水戸・龍ヶ崎会場 全3回） 日程調整中

新しいケアマネジメント導入講座（水戸・龍ヶ崎会場 全3回） 日程調整中

※その他多数計画中

③ 認知症市民フォーラム・研究大会の実施（継続事業・2月実施予定・笠間地区）

昨年度同様、認知症の市民フォーラムとして、継続する。基本的には例年通り実行委員会を発足し、委員会にて内容を検討・実行する。

SOSネットワーク構築委員会

④ 認知症相談窓口 事業（通年・継続事業） * SOS委員会にて実施

全体の電話による相談窓口の設置

窓口設置研修事業の継続 研修会を2回（県央・県南地区にて開催）

タウンミーティングの開催 各地区1回

⑤ SOSネットワーク構築事業（通年・新規事業） * SOS委員会にて実施

認知症の方のための徘徊訓練等の実施に対する支援活動

ネットワークづくりに関する検討会の創設

総務省委託事業 → 笠間市のモデル事業等への支援活動 理事長が委員会に出席

1ユニットグループホーム委員会

⑥ 1ユニットのグループホームへの支援活動（通年・継続事業）

委員会として、1ユニット会を発足し、1ユニットのグループホーム（小規模GH）の運営等に関する支援や、情報交換会などを開催する。委員会を中心とした活動とする。

制度政策委員会

⑦ 制度政策情報交換会の実施 (通年・継続事業)

昨年度からの委員会活動で構築された、制度上の課題点などを行政・関係諸団体を交え、意見交換会を実施する。(年1回を実施)

広報委員会

⑧ 広報誌の発行 (通年・継続的事業)

ホームページの内容の充実 → 閲覧状況の検証実施
求人状況の掲示開始 → 総会時に告知・随時更新
フェイスブックを活用した、タイムリーな情報の展開

デイサービス部会

⑨ デイサービスの事業者団体としての役割の確立

→ 特に、来年4月からの小規模デイサービスの地域密着型への移行を踏まえた活動を計画

⑩ デイサービス事業者の会員拡大

他の事業者団体等との連携

⑪ 全国グループホーム団体連合会・宅老所グループホーム全国ネットワークとの連携 (継続)

全国グループホーム団体連合会 → グループホームの会員会費より1000円を連合会会費として納入し、活動を支援する。理事より代議員を1名・代議員補佐を1名。

⑫ 介護の日の活動 (継続事業・11月に実施)

例年通り、11月11日の前に県庁内で一週間程度のポスターやデモンストレーションの実施を行い、当協議会の活動等の告知などを行う。

⑬ NPO法人 医療福祉クラウド協会 との連携によるICT活用連携事業

医療・介護現場での連携強化・ICT化に向けて、WAM-NETの助成金を活用し、地域でのICT化を促進する。*別途総会時資料添付。2月の実践発表会に向けて地域での活動事例を構築。

<< 活動の活性化のための 委員会詳細 >>

委員会 ⇒ いくつかの委員会を構成し、従来のように理事会のメンバーにて構成を中心とするのではなく、会員からも委員を募集することでより一層の会の広がり期待したい。会員が参加できる委員会活動を展開する。

広報委員会 → 会報誌・会員向け情報の作成

研修委員会 → 研修会の検討・実施支援

政策委員会 → 介護保険制度改革や報酬改定等の政策提言を行う

認知症フォーラム実行委員会 → 実施に向けての検討と実施

1ユニット会 → 1ユニットの運営支援、情報交換会

SOSネットワーク構築委員会 → SOSネットワークの構築に向けた研究・実施に向けた検討を行う